

第58回 東京都会計基準委員会 議事要旨

【開催日時等】

- 日 時 令和4年8月19日（金）14時00分～16時00分
- 開催形態 Web会議システムを利用した遠隔会議
- 出席委員 公認会計士 清水涼子
公認会計士 薄井 誠
公認会計士 中川美雪

【議題】

- ・ 開 会
 - (1) 委員長及び副委員長の選任について
 - (2) 令和3年度財務諸表（案）について
 - (3) 令和3年度財務諸表の点検について
 - (4) 東京都財務諸表概要版について

【配付資料】

- 資料1 東京都会計基準委員会設置要綱
- 資料2 令和3年度財務諸表（案）について
- 資料3 令和3年度財務諸表に係る監督数値について
- 資料4 東京都の財務諸表（概要版）

【議事内容】

開会にあたって、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の一環として、Web会議システムを活用した遠隔会議にて進める旨を事務局より説明した。

委員会では、議題に沿って以下のような内容の協議や意見交換が行われた。

(1) 委員長及び副委員長の選任について

事務局より、本委員会は委員改選後の初めての委員会となるため、東京都会計基準委員会設置要綱第2条第4項に基づき、委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する旨を説明した。

(委員による委員長の互選)

- ・委員の互選により清水委員を委員長に選任し、清水委員長より薄井委員を副委員長に指名した。

(2) 令和3年度財務諸表(案)について

事務局より、資料2を用いて、令和3年度財務諸表の概要と令和2年度からの増減要因分析を報告した。

(新型コロナウイルス感染症による決算への影響)

- ・貸借対照表については、新型コロナウイルス感染症対策のための国の交付金が創設・拡充されたことで同感染症対策の財源が相応に確保できたことから、都債の発行及び財政調整基金の取崩を抑制できたことを説明した。
- ・行政コスト計算書について、収入面で新型コロナウイルス感染症対策に関する国庫支出金の増加、費用面で補助費や物件費の増加などの影響があったことを説明した。

(東京オリンピック・パラリンピック大会の開催による決算への影響)

- ・東京オリンピック・パラリンピック大会の関連経費はどの費目に表れているのか。
→例えば、補助費や投資的経費などに含まれている。(事務局)

(3) 令和3年度財務諸表の点検について

事務局より、資料3を用いて、官庁会計と財務諸表の決算値の正確性を照合等により検証した結果を報告した。

(官庁会計の決算値との差異把握)

- ・行政財産や普通財産、債権などについて、官庁会計との制度の違いにより発生する差異などを説明した。

(その他決算値の点検)

- ・官庁会計で把握していない勘定科目の点検方法について教えて欲しい。
→例えば、各種引当金は会計管理局が策定した財務諸表作成要領に基づき、各局が積算した資料などとの照合、建設仮勘定は過年度分を含む設計や工事などの歳出情報との照合を行っている。(事務局)
- ・公有財産や建設仮勘定の照合を行っているにも関わらず、これまで建設仮勘定の精算漏れが度々発生している理由を教えて欲しい。
→通常は、別々に管理・運用されている公有財産台帳と財務会計システムのいずれか一方に処理漏れがあれば照合作業により把握・修正が可能だが、稀に両方で処理が漏れている場合があり、照合差異として現れないため把握ができないことがある。(事務局)

(東京オリンピック・パラリンピック開催準備基金について)

- ・東京オリンピック・パラリンピック開催準備基金に残高がある理由について教えて欲しい。

→令和4年6月の大会経費の最終報告の結果、組織委員会の予算対比で不用額が発生し、基金残高全額の取崩とはならなかった。(事務局)

(4) 東京都財務諸表概要版について

事務局より、資料4を用いて、財務諸表から分かる指標などを説明した。

(財務諸表から分かる指標)

- ・行政活動キャッシュ・フロー収支差額について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大幅に減少し、マイナスの値となっていたが、令和3年度は、税収や国庫支出金などの収入の増加、貸付けによる支出の減少などにより、再びプラスの値まで増加したことを説明した。
- ・有形固定資産減価償却率について、平成30年度は会計方針の変更により、急激な上昇となっているが、10年間を通してなだらかに上昇傾向であることなどを説明した。

○今後の予定

今回は、令和5年3月に以下の議題での開催を予定している。

- ・令和3年度財務諸表監査の報告について

以上